

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	28	1	事務事業名	母子保健事業		細事務事業名	母子保健事業		公的関与	1	シート作成日	平成30年6月6日					
課名	健康推進課			グループ	保健指導		担当課長名	飯田宏基		シート作成者名	石川江美						
事業区分	● 1 ソフト事業		○ 3 整備事業		○ 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
	○ 2 施設の建設		○ 4 経常的事務事業						<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ				実施計画		事業の開始・終了									
	施策項目	健康づくり・医療体制の充実				● 1 該当		年度 ~ 平成		年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
	主要施策	母子保健の充実				○ 2 非該当		根拠法令等		母子保健法							
個別計画																	
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)												
	妊娠、出産から児童生徒、思春期に至るまでのライフステージにある市民				1. 妊娠・出産に対する安全性の確保及び不妊治療への経済支援を行なうことで、出生率向上に寄与します。 2. 全ての子どもが、心身共に健やかに育つための健診事業、相談事業及び発達支援を行ないます。 3. 育児不安の軽減と虐待予防対策を行ないます。 4. 思春期保健対策の充実を図ります。												
事業の内容	一般不妊治療費助成、母子健康手帳交付、妊産婦健康等診査、こんにちは赤ちゃん訪問事業、乳幼児健康診査(4ヶ月、1歳6ヶ月、3歳)、乳幼児健康教育(離乳食、1歳児、健診事後)、歯科健康診査(妊娠、2歳児)、育児相談、栄養相談、歯科相談、家庭訪問																
成果指標	①	指標名	乳幼児健康診査受診率						②	指標名							
		指標設定の考え方	乳幼児の疾病早期発見、健康の保持増進のため乳幼児健康診査の受診率を指標とします。健診受診者(4ヶ月、1.6歳、3歳)							指標設定の考え方							
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度		目標平成 30 年度							
		実績	98.5	実績	99.7	目標	※	目標		100	実績		実績		目標	※	目標
		目標	100	目標	100	目標	※	目標		100	目標		目標		目標	※	目標
予算費目	会 計	一般会計				款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	6 保健事業費						
直接事業費			平成 28 年度決算額				平成 29 年度決算額				平成 30 年度予算額						
	国・県支出金			890 千円				1,155 千円				2,782 千円					
	地方債			千円				千円				千円					
	その他特定財源			278 千円				254 千円				461 千円					
	一般財源			49,233 千円				49,229 千円				59,125 千円					
	計(A)			50,401 千円				50,638 千円				62,368 千円					
人件費(B)	正職員工数・経費				3,896 人				3,895 人				3,878 人				
					26,882 千円				26,876 千円				26,758 千円				
	臨時職員工数・経費		1,355 人		2,168 千円		1,355 人		2,168 千円		1,355 人		2,168 千円				
全体事業費(A+B)				79,451 千円				79,682 千円				91,294 千円					

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	母子の健康確保に向け行なう重要な事業です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	少子化が進む中、次世代の子どもが健やかに生まれ育つための環境をつくります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		健診等の実施により母子の健康が保たれました。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	育児相談、栄養相談等による多種多様な対応が必要となってきています。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価				
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A				
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等					
	当面の課題	育児や発達等について、家庭訪問・電話相談などによる極め細やかなフォローや、一貫性のある子育て支援事業を提供するためのマネジメントを行なう必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
課題解決のための改善計画	各種研修等の参加により、専門スタッフのさらなる知識取得に取り組めます。					<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代のワンストップ相談窓口となる「子育て世代包括支援センター」の設置に向けて先進市の状況を研鑽し、新庁舎建設時に施設・機能を備えられるよう準備をする必要があります。 ・市民の多様化するニーズに応えるため、きめ細かな一貫したサービスが必要であり、次世代の子どもの成長に資するために、他の部署とのより一層の連携を図りながら、引き続き様々な施策を講ずる必要があります。 ・産後ケア事業・特定不妊治療助成制度の検討をする必要があります。 									
備考															